

第 39 回発達診断セミナー

<心理専門職コース>

主催 人間発達研究所

後援 滋賀県

発達診断セミナーは、心理専門職が発達診断・発達相談や関連する諸科学について系統的に学ぶセミナーです。今回のセミナーでは、7, 8 歳頃から 9, 10 歳頃までの発達の特徴を押さえて、この時期に大切にしたいことを、事例や研究の視点を通して考えていきたいと思います。

この時期の発達においては、具体物の操作によって簡単な推論が可能になると同時に、自分自身の変化を時間軸の中で系列的に捉えたり、話し言葉や書き言葉で語ったりすることができるようになっていきます。また、9, 10 歳頃には、具体物の支えがなくとも論理的な思考が可能になることや、記号や単位を理解すること、上位概念と下位概念の関係を捉えて行き来することなどが可能になります。さらに、仲間集団の中で相手や自分のことを多面的に捉えることができるようになる一方で、自分のことを意識しすぎてしまうような不安定さもみられるようになります。

今回のセミナーでは、この時期の発達に焦点をあて、集団の中で仲間を感じ、また、自分自身が客観的にたちあがっていく様相を学びます。認識的にも大きな変容を迎え、「飛躍的移行期」とも呼ばれるこの時期に、発達の障害はどのように現れ、捉えられるのかについて、研究や実践、事例をもとに学びます。さらに、学校や家庭とは異なる第三の場としての学童保育の意味にも目を向け、子どもたちを取り巻く社会制度の視点から、豊かな育ちと生活を保障することについて考えます。

テ ー マ 7,8歳頃から9,10歳頃の発達と障害

対 象 発達診断・発達相談に携わる方・携わろうとされている方

日 程 2026年10月31日（土）・11月1日（日）

開催形態 会場と後日の録画視聴 ※当日のライブ配信はありません。

会場：大津市生涯学習センター（滋賀県大津市本丸町6番50号）

参 加 費 一般 13,200円

人間発達研究所会員 11,000円

人間発達研究所会員25歳以下 5,500円 ※2000年4月2日以降生まれの会員

定 員 110名

申 込 み 申し込みサイトから

締 切 り 10月23日（金）

問い合わせ 人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘 1-4-39 梅田ビル 3 階

TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

人間発達研究所



日程

10月31日（土）

9:30 開場

9:55 開会あいさつ

10:00

ゼミⅠ 「7,8歳頃から9,10歳頃の発達と障害」
滋賀大学 教育学部 准教授 松島明日香さん

12:00

休憩

13:00

ゼミⅡ 「幼保小連携から架け橋期カリキュラムにおける課題と大切にしたいこと」
武庫川女子大学名誉教授 藤谷智子さん

14:30

休憩

15:00

ゼミⅢ 「小学校における子どもの事実と学びの保障」
北海道教育大学釧路校 講師 石垣雅也さん

16:30

休憩

16:45

オプション企画：ちょっと語ろう、発達相談。

17:45

11月12日（日）

10:30

ゼミⅣ 「学童期の発達相談事例」
栗東市こども家庭局発達支援課 相談員（心理判定員） 梅景政子さん

12:00

休憩

13:00

ゼミⅤ 「権利としての放課後・余暇：学童保育の制度と実践を通して」
早稲田大学名誉教授 増山均さん

14:30

閉会

※受講者の録画・録音はお断りします

講義内容

ゼミⅠ 7,8 歳頃から9,10 歳頃の発達と障害

このゼミでは、7, 8 歳頃から9, 10 歳頃までの発達の特徴と障害について学びます。

この時期は、見かけに左右されず物事の本質や法則性を捉え、論理的に考える力が育つ「変換可逆操作の階層」への移行期にあたります。5, 6 歳頃に誕生する生後第3の新しい発達の力を基盤に、9, 10 歳頃には具体的思考から抽象的思考への移行が進みます。一方、「9, 10 歳の節」とも呼ばれるこの時期には、発達の特性や学習上の困難が明らかになりやすくなります。こうした発達の連続性を踏まえ、この時期の発達の特徴と障害について考えます。

ゼミⅡ 幼保小連携から架け橋期カリキュラムにおける課題と大切にしたいこと

このゼミでは、幼児期の教育・保育から小学校教育に移行する際に、幼児期に培われた力がどのように児童期の学習につながるかについて、主にメタ認知・協同性・自己制御という3つの側面に注目して学びます。子どもたちは移行期を経験する中で、達成感や自己肯定感を積み重ね、次のステージを生きる力を育んでいきます。子どもたちが主体的に学習し、この時期を充実して過ごすために、周囲の大人ができることについても話していただきます。

ゼミⅢ 小学校における子どもの事実と学びの保障

「ノートや作文、テスト、つぶやきの記録等の『具体的な物（証拠）』」のことを「学習の事実」と呼びます（窪島, 2025）。子どもたちが書いたことや話したこと、その学習の事実を踏まえながら子どもの内面をイメージし、働きかけることで“子どもの事実”が見えてきます。

子どもの事実から始まる授業は、その子自身が発達の主体であるということを保障します。どのような子どもの事実、学習の事実があるのか、そのことをどのように教育現場でつかみ、それに基づいた教育を構想していくのか。子どもたちの発達を保障していく実践について、報告していただきます。

参考文献：窪島 務（2025）『インクルーシブ教育と特別ニーズ教育—試金石としてのスローラーナーの認知』
文理閣

ゼミⅣ 学齢期の発達相談事例

このゼミでは、9,10 歳の節目にかかわる発達相談の実践について、事例を挙げてお話しいたします。抽象の世界に足を踏み入れていくこの時期、新しい発達の力の誕生から、子どもの姿がどのように変わっていくのかを学び、子どもと保護者と学校、それぞれの思いをつなぐ相談について考えます。

ゼミⅤ 権利としての放課後・余暇：学童保育の制度と実践を通して

近年、“忙しい”小学生の話を耳にすることが増えています。この時期の人たちにとって、放課後や余暇の時間はどのような意味をもっているのでしょうか。このゼミでは、家庭や学校とは異なる過ごし場所として、「学童保育」に焦点をあてて考えます。子どもたちの自分たちのための時間、その中で形作られていく自分自身の存在や仲間関係など、この時期の発達の特徴と合わせながら、豊かな遊びや生活を子どもたちの権利として保障することの大切さについて学びます。

オプション企画：ちょっと語ろう、発達相談。

セミナー1 日目の終わりに、参加者同士で気軽に語り合う時間を設けます。「最近、こんな相談があった」「検査のフィードバック、どうしていますか？」「こういうとき、みなさんはどう考えていますか？」。日頃の発達相談にまつわる経験や悩み、考えていることから、セミナーの感想や近況まで、自由に意見交換・情報交換をしてみませんか？ 専門職同士だからこそ話せること、聞いてみたいことを語り合いながら、互いの実践を知り、新たなつながりをつくる時間です。どうぞお気軽にご参加ください。対象：当日来場された方のうち、参加を希望される方。

後日の録画視聴のみで受講される方へ

- ・録画視聴は2026年11月10日から30日間を予定しています。
- ・11月9日に案内が届かない場合は、人間発達研究所までご連絡ください。
(迷惑メールになっていないかご確認ください)
- ・Wi-Fiの環境での視聴をおすすめします。

会場で受講される方へ

- ・会場受講の場合も、録画視聴の案内をお送りします。
- ・会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ・アクセス
京阪電鉄 膳所本町より徒歩約7分
JR 琵琶湖線 膳所駅より徒歩約20分
路線バスは本数が少なくおすすめしません
- ・お車の場合
会場の駐車場は台数が限られています。満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



申込について

申し込み方法

① インターネットの申し込みサイトで受け付けます

右下のQRコードか、研究所のホームページのリンクからお申し込みください。
会場受講か録画視聴のみか、オプション企画に参加するか否か、にご回答ください。
受講料の支払いは、カード決済、コンビニ決済、ペイジー決済、のいずれかです。
折り返し確認メールが届きます。@eventpayからのメールを受信可能にしておいてください。
登録されたメールアドレス宛に、録画視聴の案内を送ります。

② 出張で銀行決済（銀行口座への送金）になる場合

請求書を発行しますので、以下の情報を人間発達研究所までお送りください。
受講者情報：氏名、生年月日、所属、メールアドレス、テキスト送付先住所（自宅／職場）
請求書発行情報：宛先名（ex.〇〇長）、発送先住所、必要な場合は担当者名

●テキストは事前に全員に郵送します（10月26日頃発送予定）。

申し込み締め切り

2026年10月23日（金）
期日前でも定員になりますと締め切ります。
出張で参加される方はゆとりを持ってお申し込みください。



申し込みサイト

キャンセル

- ・FAX・メールで研究所までご連絡ください。キャンセル受付の返信をご確認下さい。
10月22日（木）まで 全額をお返します。
10月23日（金）以降 申し訳ありませんが返金できません。

同時入会もお待ちしております（年会費 5,000 円、25 歳以下 2,000 円）

- ・同時入会で会員として受講できます。会報紙や研究紀要をお届けします。



入会申込サイト